

## 入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	平成30年 8月30日(木) 本部第1号館第1会議室	
委員	委員長 玉田 斎 (弁護士)	
	委員 長谷川 周義 (公認会計士)	
	委員 小川 隆文 (不動産鑑定士)	
	委員 熊田 一充 (名古屋大学監事)	
審議対象期間	平成29年 7月 1日 ~ 平成30年 6月30日	
抽出案件(合計)	20 件	(備考) 今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。  <抽出案件> 名古屋大学 6件 静岡大学 2件 浜松医科大学 2件 三重大学 2件 岐阜大学 2件 豊橋技術科学大学 2件 愛知教育大学 2件 名古屋工業大学 2件 合計 20件
工事(小計)	12 件	
一般競争入札(政府調達に関する協定対象工事)	1 件	
一般競争入札(上記を除く)	10 件	
工事希望型競争入札	0 件	
通常指名競争競争入札	0 件	
随意契約	1 件	
設計・コンサルティング業務(小計)	8 件	
公募型プロポーザル方式	0 件	
簡易公募型プロポーザル方式	1 件	
簡易公募型プロポーザル方式(拡大)	3 件	
標準型プロポーザル方式	1 件	
一般競争入札	0 件	
随意契約	3 件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし	

※ 委員からの意見・質問、それに対する回答等はできるだけ詳細に記入すること。

質 問	回 答
入札監視委員会定例会議議事概要 (担当委員より説明) ・特になし	
2. 建設工事及び設計・コンサルティング業務に関する入札・契約手続について ・前年度からの改正点があれば説明いただきたい。	・W T O 政府調達協定対象工事の基準額が、平成30・31年度においては、6.8億円以上（設計・コンサルタント業務については6,800万円以上）となっています。
3. 名古屋大学において発注した建設工事及び設計・コンサルティング業務について ・特になし	
4. 指名停止等の措置状況について ・特になし	
5. 再苦情処理会議への申立状況について (再苦情処理については申立がなかった旨を報告)	
6. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議 (名古屋大学) (1) 工事 一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事) <b>【インターナショナルレジデンス大幸(仮称)等整備事業】</b> ・この事業の概要について説明してください。	・本事業は民間の資金やノウハウを活用するPPPと呼ばれる手法を用い、建物の整備と維持運営を一体で入札にかけている。事業者が本施設の整備業務を実施した後、大学に本施設の所有権を引き渡し、施設の維持管理業務、運営業務等を35年間かけて実施する形となる。本事業の概念や構想は学外弁護士、中部PFI/PPP研究会も含めた「名古屋大学PPP/PFI事業検討委員会」において審議・決定されている。

質 問	回 答
<p>・ 契約の相手方である株式会社なごや大幸アカデミックサービスはどのような会社か。</p>	<p>・ 本事業を行うために結成された特別目的会社である。</p>
<p>・ 【参考質問】 特別目的会社の信用力はどのように判断したか。倒産等のリスクに対する事業継続性はどのように担保されているか。</p>	<p>・ 入札者は設計・建設・工事監理・維持管理・運営に当たる者から成り、それぞれに要件を定めているので、入札者から提出された書類をもって判断する。なお落札者として決定された場合は、契約締結まで特別目的会社を設立し、参加企業は当該特別目的会社の全体の50%を超える比率まで出資し、すべての出資者は、事業契約が終了するまで特別目的会社の株式を保有するものとされている。仮に維持管理運営会社が倒産した場合も、特別目的会社に融資をした金融機関は資金を回収する必要があり、代わりの維持管理運営会社を見つけるインセンティブは働いていると考えている。</p>
<p>・ 【参考質問】 サービス購入費の支払いに際し、損失が発生する可能性はあるか。</p>	<p>・ 入居率8割で契約金額の約26億円を35年で償還できるようにシミュレーションをしている。入居者構成は外国人留学生80%程度、日本人学生20%程度で考えられており、現在本学は2000人強の留学生在籍し、これを3000人まで増やすという目標があるので、宿舎は足りていない状況にあるため損失は発生しないと考えている。ただし入居者からの家賃収入から定額のサービス購入費を引いた差額が本学の収入となるので、入居率が下がれば損失が発生する可能性はある。</p>
<p>・ 一者応札となった理由は。</p>	<p>・ 参加申出をしたのは四者あったが、その内三者が辞退した。要因としては35年という長い事業期間と、オリンピックの影響などから物価が高騰したことが考えられる。</p>

質 問	回 答
<p>・入札回数が一回で99.55%という高い落札率になった理由は。</p> <p>一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く） 【（東山）工学部8号館北棟等昇降機設備更新工事】</p> <p>・エレベーターの耐久年数はどのぐらいですか。</p> <p>・保守はメーカーが行うのが通常か。</p> <p>・そのようなメーカーは入札対象から外すのか。</p> <p>【（東山）情報基盤センター耐震改修その他工事】</p> <p>・入札内容証明書と見積書徴取結果の数字の関係がわからない</p> <p>・入札は何回を目処に行っているのか。 ・見積書徴取の段階では業者と内容を摺り合わせして出してもらっているのか。 ・施工体制確認型についてはいくら以上が対象か。</p> <p>随意契約方式 【（東山）南部食堂昇降機1号機被水部品取替工事】</p> <p>・少額随意契約の適用範囲は。</p>	<p>・本事業は、設計から建設後の維持管理・運営業務までを一括で発注する方式を採っており、入札者の視点では事業規模が非常に予測しづらいため、入札説明書に本学からの支払可能額を明示した。戸数や家賃も予め分かっていたので、規模感は推測できたと思われる。</p> <p>・エレベーターのメンテナンスは法律で義務づけられているのである程度の期間はもつはずだが、メーカーの部品保証が20年ほどで切れてしまい部品供給されないので本体が使えないという状況になる。</p> <p>・昔は保守はメーカーしか行えなかったが、今は保守を専門に行う会社も存在している。今でも稀に保守専門会社に部品供給をしないメーカーは存在している。</p> <p>・一般競争なので参加資格があれば外すことはできない。</p> <p>・電子入札は2回行われ予定価格を下回らなかったため、不落随契の手続きに移り、その後予定価格を下回るまで3回見積書を提出させた金額である。</p> <p>・2回を目処に行っている。 ・内訳を出してもらい、個々の内容について交渉している。 ・予定価格が税込2億円以上となる。</p> <p>・250万円未満になる。150万円以上250万円未満は簡易見積合わせを本学のHP上で行っている。</p>

質 問	回 答
<p>・金額の妥当性はどのように判断したか。</p>	<p>・他メーカーの同等部品で参考見積を取り比較検討している。</p>
<p>(2) 設計・コンサルティング業務 簡易公募型プロポーザル方式 (拡大) 【(東山) オークマ工作機械工学館新営その他設計業務】</p> <p>・技術提案書は何枚ぐらい出てきますか ・どのような形で提案されるのか。</p> <p>随意契約方式 【(東山) オークマ工作機械工学館調査業務】</p> <p>・地盤調査が5月18日契約で、設計が5月11日となっているが、地盤調査の結果を受けて設計が変更になることはないのか。</p> <p>・静岡の会社を選んだ理由は。</p> <p>【その他】</p> <p>・全体的に見て、落札率が高く、入札回数も1回で決まっているものが多いように見受けられるが、業者は数字がわかるのか。</p>	<p>・一つの間いに対して、A4両面程度です。 ・こちらから課題 (例: 「省エネルギーに配慮した計画」「安全対策」「耐震性」「コスト面」等) を与え、それに対して各社が提案してくる内容を審査している。</p> <p>・設計は契約後すぐに始まるわけではなく、地盤調査の結果を受けて図面を描くので問題はない。</p> <p>・名古屋大学の実績があり、既往のデータを含めて分析がかけられるから。</p> <p>・共通費の算出はオープンになっている。直接工事費の部分も、数量を公開している部分もあり、単価も公的に示している値を採用しているため、同じ値を使っていれば金額も差がなく算出できるはずである。差異が生じるのは、本学に示される見積と、メーカーから施工業者に示される見積の差である場合が多い。</p>
<p>7-1. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議 (静岡大学) (1) 工事 一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事を除く) 【(城北) 附属図書館分館・学生支援棟新営その他工事 (Ⅱ期)】</p>	

質 問	回 答
<p>・入札者数3者、入札回数1回で落札率が99.82%と高くなっているが、このようなことが起こり得るのか。契約金額が2億円と大きいにも関わらず、契約金額と予定価格が50万円しか変わらないということがあるのか。</p> <p>・積算がし易い工事だったのか</p> <p>・評価調書のK2の業者について、加点が30点あったようだが、満点の加点があったということか。</p> <p>・品質確保の実効性もあるし、施工体制確保の確実性もあるということでそれぞれ15点ずつの満点が入ったということか</p> <p>・手続きとして、施工管理体制の確認はどのように行っているか。</p> <p>・仮に施工体制の評価で疑義が出てきたらどうするのか。</p>	<p>・本学の予定価算定が妥当であったと考える。</p> <p>・今回は改築と改修部分があり、内容が多岐にわたる工事であったため、業者の積算が上手に行われたとしか言いようがない。項目毎に設定された掛け率は業者には分からないので、推定は難しいと思われる。</p> <p>・施工体制評価点が30点満点だった。最低価格基準以上であり、内訳のそれぞれの項目に関しても一定割合以上で適切に積算されており、施工体制には問題がないという判断で満点の加点を行った。これは文科省通知の評価方法に従って評価をしている。</p> <p>・その通りである</p> <p>・原則予定価格の範囲内となった業者に対して全て施工体制を確認している。今回はたまたま一者だったということである。</p> <p>・内訳のいずれかの項目が一定割合を下回った場合は、施工体制確認のために業者にヒアリングを行う。</p>
<p>(2) 設計・コンサルティング業務 標準型プロポーザル方式 【(城北) 総合研究棟(工学系) 新営設計業務(1期)】 ・特になし</p>	

質 問	回 答
<p>7-2. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議（浜松医科大学）</p> <p>(1) 工事</p> <p>一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く）</p> <p>【医工連携拠点棟新営その他工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貴学は以前から落札率が高いように見受けられるが、その原因をどのように考えているか。</li> <li>・ 選定した案件とは別になるが、5回入札を行っているのはなぜか</li> <li>・ 複数回の入札で落札率が高いのは理解できるが、1回入札で率が高いのは他大学と比較して違和感を感じる。</li> <li>・ 引き続き改善のための方策を考えて頂きたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発注時期が他の地方公共団体と重なる時期で参加する業者も少なくなっていることが考えられる。従って今年度は発注時期の見直しを行い、4～5月に改札を行った。3件行ったが、結果としては落札率を低下させることはできなかった。その他対策として実績要件、地域要件を緩和させる取り組みを行うほか、業界新聞へ積極的に公告情報を掲載するように努力しているが、結果として未だ高い状況が続いている。引き続き努力していきたい。</li> <li>・ この案件は本学が設定した予定価格に初回から近いラインで札を入れており、通常は2～3回で打ち切るが、必ずしも2回で切らなければいけないルールはないため、繰り返し入札を行った。</li> <li>・ 参加業者も年々減ってきている状況でもあり、業者側でも本学の予定価格の立て方を熟知して、ギリギリを狙って落としているか、不落随契を狙っているのではないかと考えられる。</li> <li>・ 了解しました。</li> </ul>
<p>(2) 設計・コンサルティング業務</p> <p>簡易公募型プロポーザル方式（拡大）</p> <p>【病院医療機能強化棟（仮称）等基本設計業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし</li> </ul>	

質 問	回 答
<p>7-3. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議（三重大学）</p> <p>（1）工事 一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く） 【三重大学（上浜）基幹整備（給水設備）工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入札した3者の価格に開きがあるのは何故か。</li> <li>・低入札価格調査の実施概要を見ると理由が三つあげられているが、それぞれの項目について、ここに記載された文章のみではここまでの差が生じる理由が判然としない。金額的な裏付けで合理的に判断しているのか。</li> <li>・工事価格、主要資機材費の低減には限界があると思うので、諸経費を大幅に圧縮するしか方法がないと思われるが、それについてはどのように判断するか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最も高い一者については建築・土木をメインとする業者で、他の二者は設備系の業者であったので積算の違いが生じたと考えられる。一番価格の低い業者について低入札調査を行い、その結果から判断して契約に至った。</li> <li>・見積内訳を出しているなので、その金額で合理的に判断している。</li> <li>・企業努力を勘案する場合もある。諸経費を圧縮する場合であっても、業者から提出された資料で施工が可能かの確認を行っている。</li> </ul>
<p>（2）設計・コンサルティング業務 随意契約方式 【三重大学（教育）教職支援センター改修設計業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少額随意契約の範囲は</li> <li>・3者の入札金額が225万円から400万円と開きがあるが、3社とも250万円未満でなければ落ちないと知っていたはずでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・250万円未満である。</li> <li>・予定価格100万円以上250万円未満は本学のHP上で簡易見積合わせを行っているが本学としても理由は不明である。</li> </ul>



質 問	回 答
<p>7-4. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議（岐阜大学）</p> <p>（1）工事</p> <p>一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く）</p> <p>【岐阜大学（柳戸）基幹・環境整備（ライフライン再生②）機械設備工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・落札率が高く落札者は見積額を正確に読んでいるが、ここまで正確に数字が読めるものなのか。</li> <li>・標準点及び加算点が決定されたのはいつになるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数量公開の対象工事であることも一つの要因として考えられる。</li> <li>・標準点は100点、加算点は65点である。加算点の内、企業の技術力、企業の信頼性・社会性については9月4日の総合評価審査委員会で確定し、企業の施工体制については金額が基準以上であった為ヒアリングを省略して開札時の9月20日に満点を事務的に確定させている。</li> </ul>
<p>（2）設計・コンサルティング業務</p> <p>簡易公募型プロポーザル方式（拡大）</p> <p>【岐阜大学（柳戸）応用生物科学部校舎（B・C棟）Ⅰ期改修設計業務（建築）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定結果書では特定されなかった業者についてその理由を記載しているが、参加表明書審査表を見ると特定者とそれ以外の点数の差はわずかであり、理由を見ただけでは何が足りないのか判然としない。特定結果書は公表されるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定結果書は公表しているが、評価表の点数については特定されなかった業者の名前を伏した形で公表している。</li> </ul>

質 問	回 答
<p>7-5. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議（豊橋技術科学大学）</p> <p>(1) 工事 一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く） 【基幹・環境整備（排水処理施設）工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入札者数が一者であるが、これは特殊な工事に参加する業者がないのか。</li> <li>・入札結果一覧表で、8.4点の加算点が与えられているが、加算点の満点は何点ですか。</li> <li>・30点満点中の8.4点は低いように感じますが、この辺は問題ないですか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学は下水道が通っていないため、学内に排水処理場があるが、それが40年経過したので新設するもので、基本的にはプラントが作れる排水処理メーカーになる。対象業者の数は多くない。</li> <li>・30点です。</li> <li>・30点の内の20点は施工計画の部分で、本件は既設の設備をどのように活用するかについて相手方からの提案を求めたが、結果的に一般的な提案が多かったため、加算されなかった。そうであっても、施工能力が適切であることが基本で、そこにどれだけの工夫がされているかが加算のポイントとなるので、工事には特に問題はない。</li> </ul>
<p>(2) 工事 随意契約方式 【基幹・環境整備（排水処理施設）設計業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本件はプロポーザル方式による一般競争入札を行ったところ、参加表明書を提出する者がいないため随意契約になったとのことであるが、何故一者も提出がなかったのか。</li> <li>・見積を出した3者の設備設計費を比較すると、185万円から720万円と大きな開きがあるが、これはどのように考えるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活排水処理施設という特殊な工事に対する設計業務なので、プロポーザル方式として資料を出すのが困難であったことと、実績が多くないということが考えられる。</li> <li>・見積を出した業者が自社では行えない排水処理施設設備設計の部分を別業者に下請けに出す際の見積額に差が生じたものと考えられる。</li> </ul>

質 問	回 答
<p>7-6. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議（愛知教育大学）</p> <p>(1) 工事 一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く）</p> <p>【総合研究棟（教育学系）改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入札参加者が多かったが、その理由は何ですか。</li> <li>・工事の発注時期が多い月はいつ頃か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着工時期が3月9日ということがあったため、技術者が確保しやすい時期であったことが想定される。</li> <li>・補助金の交付時期によるが、当初予算だと設計期間が4～5ヶ月かかるので、9月頃が集中しやすい。</li> </ul>
<p>(2) 設計・コンサルティング業務 簡易公募型プロポーザル方式（拡大）</p> <p>【愛知教育大学(井ヶ谷)総合研究棟(教育系)改修設計業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術提案書評価表の結果を見ると、一位と二位の業者の差は0.8ポイントで僅差だが、審査項目の内、提案の的確性／独創性／実現性については採点する委員の主観によるものが大きいと考えられる。また本件について大学の求めるものが委員に適確に伝わっていることが重要だと考えられるが、そのあたりはどのように説明されるのか。</li> <li>・仮に苦情申し立て等が発生したとき、評点する基準が明確になっていないと問題になると考えられるので、議事録等でその点を明確にし根拠を残した方が良いのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局から口頭で説明している。</li> <li>・わかりました。</li> </ul>

質 問	回 答
<p>7-7. 建設工事における抽出案件の審議（名古屋工業大学）</p> <p>(1) 工事 一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く）</p> <p>【基幹整備（排水設備）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加点は何点満点ですか。</li> <li>・ 落札業者の施工能力、配置予定技術者の能力は高いように思われるが、それでもその程度（5点、6点）の加点しかないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 15点満点です。</li> <li>・ 今回落札した企業の施工能力で言うと、実績が1点、工事成績で0点で実績がなかった。</li> </ul>
<p>(2) 工事 一般競争入札方式（政府調達に関する協定適用対象工事を除く）</p> <p>【名古屋工業大学6号館等空調機改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「低価格調査の結果及び落札者の決定について」によると機器購入については現在の手持ち工事との併合購入により安価にて購入が可能とあるが、落札者の見積額と、大学の見積額にどの程度の差があるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手持ち資料がないので詳細は分かりかねるが、選定した空調機の性能を元に各メーカーに見積を依頼し、提出された定価の見積額に対して本学実績の低減率を掛けて予定価を定めている。今回は落札者の低減率が本学の予定価より大きかった。</li> </ul>